

資料

大学における被服教育へのe-Learningの導入(4)

—被服原型作図コンテンツの作成と検討—

名古屋女子大学 小町谷 寿子*
名古屋学芸大学 石原 久代**
名古屋女子大学 間瀬 清美*

Introduction of E-Learning of Clothing Education in Universities(4) —Construction and Examination of Clothing Pattern-making Contents—

Hisako Komachiya*, Hisayo Ishihara** and Kiyomi Mase*

**Nagoya Women's University*

3-40 Shioji-cho, Mizuhoku, Nagoya Aichi, 467-8610 Japan

***Nagoya University of Arts and Sciences*

57 Takenoyama, Iwasaki-cyo, Nisshin-shi, Aichi, 470-0196 Japan

(Received January 9, 2013)

(Accepted for Publication July 2, 2013)

Keywords : clothing pattern-making パターンメイキング, basic bodice pattern 胴部原型, e-Learning イーラーニング, clothing education 被服教育, ICT (Information and Communication Technology) ICT

1. 緒言

高等教育におけるICT (Information and Communication Technology) 化の動きの中で、現在、多くの大学がe-Learningの導入を進めているが、家政学の分野での導入率は低く、被服の分野で十分機能しているとは言い難い。被服の分野でICT化が進み難い状況にあるのは、主として次の2つの課題があるといえる。

第1の課題は、実習という作業をわかりやすく表現し難い点にある。実習は、体の動きや感覚も含めたものづくりであり、基礎となる正しい知識の習得とともに、技術の体得が必要となる。これをわかりやすく表現するには、必要な視覚情報を適切に組み合わせたアルゴリズムの構築が必要であり、また、関連する情報への速やかなリンクとアクセスの容易さも重要になる。